

食環協は飲料メーカー6団体が集まり、  
環境美化・ポイ捨て防止に取り組んでいます。

構成する飲料メーカー6団体

**一般社団法人全国清涼飲料連合会**

清涼飲料メーカーなどからなる一般社団法人  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-9-2  
TEL.03-6260-9260  
URL <http://www.j-sda.or.jp>

**一般社団法人全国トマト工業会**

トマト加工製品メーカーなどからなる一般社団法人  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-18  
TEL.03-3639-9666  
URL <http://www.japan-tomato.or.jp>

**一般社団法人日本果汁協会**

果実飲料メーカーなどからなる一般社団法人  
〒105-0014 東京都港区芝3-3-14  
TEL.03-6275-1761  
URL <http://www.kaju-kyo.ecnet.jp>

**日本コーヒー飲料協会**

コーヒー飲料メーカーなどからなる任意団体  
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-9-2  
TEL.03-6260-9257

**コカ・コーラ協会**

日本コカ・コーラ社、全国のコカ・コーラボトラーズ社および  
コカ・コーラカスタマーマーケティング社からなる任意団体  
〒106-0032 東京都港区六本木6-2-31  
TEL.03-5410-4521

**ビール酒造組合**

アサヒ、麒麟、サッポロ、サントリー、オリオン（沖縄）の  
ビール5社による特別認可法人  
〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7  
TEL.03-3561-8386  
URL <http://www.brewers.or.jp>

 **公益社団法人  
食品容器環境美化協会(食環協)**

〒108-0023 東京都港区芝浦2-15-16 田町K・Sビル6階  
TEL. 03-5439-5121  
FAX. 03-5476-2883  
URL <https://www.kankyobika.or.jp>

# アダプト・プログラム

市民と自治体が協働ですすめる  
まち美化・清掃ボランティアシステム



# 『アダプト・プログラム』とは

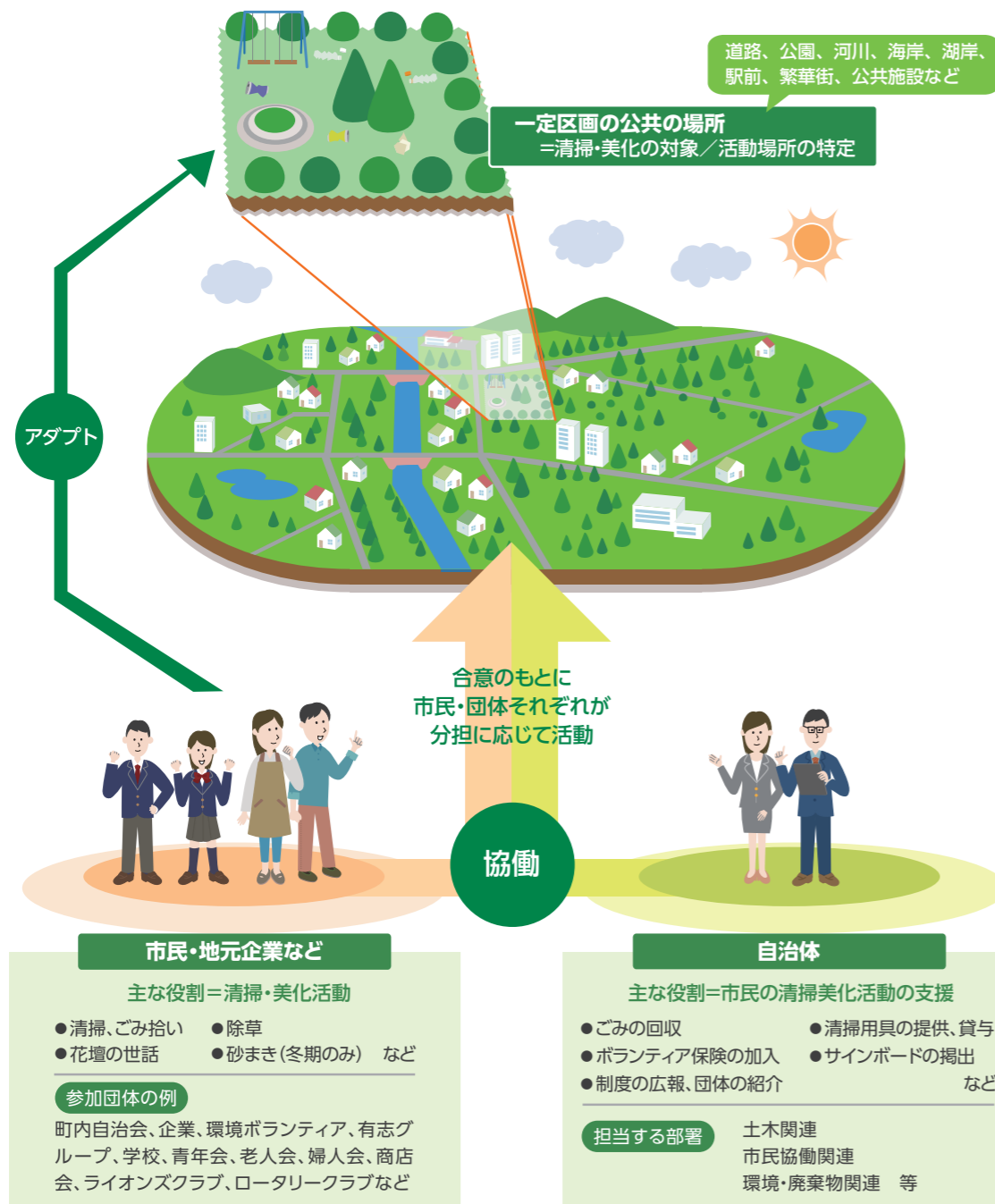
## 市民と自治体が育む「まち美化プログラム」

「アダプト・プログラム」は市民と行政が協働で進める、「まち美化・清掃ボランティアプログラム」です。

アダプト(ADOPT)とは英語で「〇〇を養子にする」の意味。

一定区画の公共の場所を養子にみたと、市民がわが子のように愛情をもって面倒をみ(=清掃・美化を行い)、行政がこれを支援します。市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで美化を進めます。

### 基本モデル(アダプト・プログラムのしくみ)



### アダプト・プログラムの導入概況(2019年3月末現在)

実施自治体数 : **423**自治体      参加団体数 : 約**45,000**団体

プログラム数 : 約**570**プログラム      活動者数 : 約**250**万人

※食環協はアダプト・プログラムの認定機関ではございません。上記データは食環協が把握しているデータの数字です。

## アメリカで生まれ、そして日本へ

アダプト・プログラムは1985年、ハイウェイでの散乱ごみ問題が深刻化していたアメリカで生まれたまち美化・清掃活動プログラムです。1985年にテキサス州がはじめて導入。その後、急速に全米に普及しました。

日本ではじめて「アダプト・プログラム」が導入されたのは1998年。以降、急速に普及が進み、現在では全国で約400の自治体で250万人を超える市民がこのプログラムに参加しています。

市民と自治体の協働ですすめるまち美化活動は、環境美化だけにとどまらず、地域への誇りと愛着を育みます。各地で地域特性に応じた独自の「アダプト・プログラム」が導入され、成果をあげています。

## ADOPT A HIGHWAY



## アダプト・プログラムの特徴

- 地域に根差した継続的な清掃活動
- 合意書を結び行政と市民の役割分担を明確にする(協働)
- 都道府県/市町村ごとに導入
- サインボード(看板)の掲出

サインボード(看板)には、制度名、団体名が記載され、主に活動場所に掲出されます。サインボードを設置することで、活動団体には自覚とやりがいを、一般市民にはまち美化・散乱防止の啓発や制度のPRになる、などの効果がみられます。



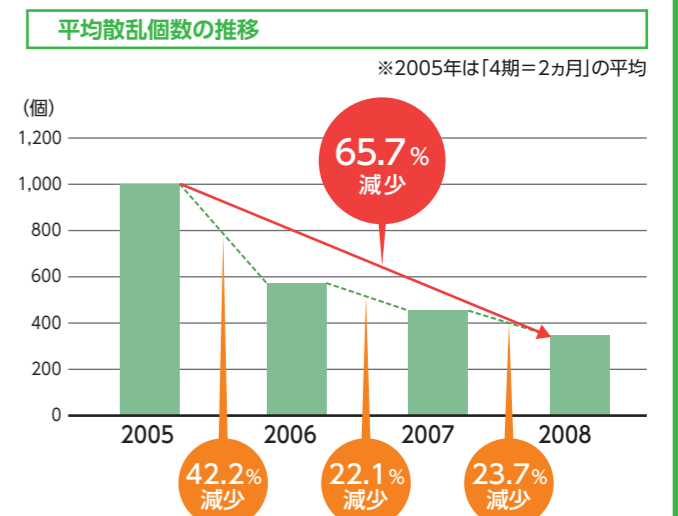
## — アダプト・プログラムの広範な効果 — まち美化から、地域の愛着・まちづくりへ

### 1. まち美化効果、ポイ捨て防止効果

「散乱ごみが減った」という実際のまち美化効果。まち美化への関心、自分が捨てなくなった、ポイ捨て防止の啓発などの啓発効果。

#### 導入効果実態調査 (麻布大学・アザプト活動成果)

麻布大学・相模原市・食環協の3者協働施策  
実施内容：月2回清掃+調査活動  
清掃範囲：矢部駅〜麻布大学(延べ475m)



### 2. 副次的な効果

アダプト活動を定期的に継続的に行うことで、地域への愛着が深まったという地域への愛着心や地域の連帯感が高まった、地域のイメージアップなどの地域活性化への効果など、様々な副次的な効果も生まれています。

- 地域連携(まちづくり、協働、交流・パートナーシップ)
- 発展(地域PR、地域振興、参加者の自己実現)
- 環境保全

# アダプト・プログラムの導入・参加方法



## 【行政】制度導入プロセス

地域の実績・実態にあわせた導入計画を立てること、参加される市民のみなさまへのサポートがアダプト・プログラム成功の秘訣です。

### 1 立ち上げ

窓口となる担当部局を中心に道路・公園・河川部局、市民協働部局、まち美化推進部局、廃棄物対策部局などなるべく多くの関連部門に呼びかけて、「プロジェクトチーム」を立ち上げます。なるべく多くの関連部門に呼びかけ、プラン作りに参画してもらうことがポイントです。そうすると部門間調整がスムーズに進みます。中心となる部局を「事務局」とし、関連部局は「委員」として参画します。

### 2 プラン作り

- 導入場所、導入規模、導入プロセス、回収ごみの処理、サインボードの掲出方法など基本プランの策定
- 実施要領、合意書などの書式の作成
- 予算措置
- 広報・公募プランの策定
- 基本プランを固める前に、一度、市民団体の意見を聴取し、特に「活動内容」「役割分担」について相談し、必要に応じて、部分修正をします。

### 3 個別団体への説明

公募に先立って、主だった市民団体へは、実施要領、公募計画の説明をしておきます。以降の協力を依頼し、できれば「活動団体」としての参加を確保しておきます。

### 4 活動団体募集

ホームページや広報誌などによる公募や、市民団体への直接勧誘する方法などがあります。

#### 特色のあるアダプト制度の紹介

### 特定非営利活動法人ひろしまアダプト（広島県）

#### アダプト制度の中間支援組織として国、県、市町と市民をサポート

県や市町のアダプト体制づくり支援、アダプト参加呼びかけ、活動団体の支援、活動内容コーディネート、自立した活動を行うための支援を行っています。

注) 国のアダプト制度：道路「ボランティア・サポート・プログラム」

広島県のアダプト制度：道路、河川「広島県アダプト制度」、海浜・海岸「広島県せとうち海援隊支援事業」

#### ■ 広島県と協働で活動推進のシンボルとなるマスコットキャラクターを公募・選定

宮島にいる鹿がモチーフ。前髪は広島県の「県の木」であるモミジ、胸には広島県章をつけている。地域の道路や河川を清掃・緑化など「アダプト活動」を広めるため、竹ぼうきとちりとりを手に躍動感ある姿で活動への参加を呼びかけています。

#### ■ 青少年アダプト活動コンテストを開催

会員の高齢化の解消や青少年に「アダプト活動に参加することの意義・楽しさ」を知ってもらうため、青少年の活動団体を応援するフォーラムを年1回開催し、活動成果発表の場を設け、表彰を行っています。



広島県アダプト制度マスコットキャラクター「アダピィ」

#### アダプト活動団体の紹介

### しまなみボランティア団体 豊魚会（愛媛県/愛ビーチ制度「愛媛ふれあいの海辺」）

#### 釣り仲間が集まってアダプト活動

今治市の玄関口、来島海峡大橋を望む糸山海岸で年4回清掃活動を行っています。人の往来が少ないため「ポイ捨てされたゴミ」は少ないのですが、目立つのが海岸沿いに散乱する漂着ゴミ。活動日程が確定すると、ブログとFacebookで告知します。集まって来るのは、釣り仲間。友達が友達を誘うなど、横のつながりで、仲間が増えています。大人たちに連れられて子どもたちも参加します。子どもたちはゴミを拾い、時には海岸で遊んだりしながら、「海を綺麗にすること」の大切さを自然と学んでいます。別の場所で捨てたゴミが巡り巡って海岸に漂着するということを知ってほしいと思っています。



※食環協HPではより多くの事例を紹介しています。ぜひご覧ください。



## 【市民（活動団体）】参加登録ステップ

### 1 自治体に問い合わせる

#### ■ アダプト・プログラムを導入している場所

自治体により導入している場所が異なります。道路や公園・河川などすべての公共の場所が対象になっている自治体から、道路だけ、公園だけという自治体もあります。また湖が近い自治体は湖を対象としたプログラム、海が近い自治体では海岸プログラムなど、自治体によって多種多様なプログラムがあります。

#### ■ 自治体の担当部署

清掃する場所によって担当部署が変わる自治体もあります。道路であれば道路担当課、公園であれば公園担当課などそれぞれの部署が担当していたり、市民協働の担当課が全体を統括して担当するなど、自治体により担当課が異なります。

### 2 活動内容の決定

#### ■ 団体メンバー間で活動日や時間、頻度、活動内容をよく話し合って決めましょう。

無理のない範囲で活動することが長く継続するポイントです。

#### ■ 活動場所や活動範囲は、同じ場所を他の団体も活動している場合もありますので自治体担当者に確認するとよいでしょう。

#### ■ 提出する書類は参加申込書だけでなく、活動予定表や活動報告書、メンバー表などがあります。提出時期なども含め、自治体担当者に確認しましょう。

<活動団体の役割(例)> 清掃・ごみ拾い(基本)、除草、落書き消し、植樹・植栽、違法広告物撤去、情報提供、活動報告、砂まき(豪雪地帯)など

<行政の役割(例)> 清掃用具の貸出、損害保険の加入、サインボードの掲出など

支援内容は地域によって異なります。

### 3 合意書を結ぶ(登録完了)

自治体と活動される皆様の間で合意書を結びます。

#### 清掃活動の際の注意事項

##### ごみの分別について

燃やせるごみ、燃やせないごみ、プラスチック、ビン・カン、ペットボトル、収集する市町村の分別方法で分別しましょう。(自治体の指示に従ってください)  
また、大型ごみ、不法投棄のごみは、どこにどんなものがあったかをメモし、市町村に届けましょう。また、収集日、収集場所は必ず守ってください。

##### 軍手や手袋、火ばさみなどを用意しましょう

ごみの中には、ガラスの破片や危険物などが混じっている場合があります。ごみ拾いをする際は軍手、手袋、火ばさみなどを使用し、素手でごみに触れないようにしましょう。

##### 交通安全に注意しましょう

車や自転車の通行が多い場所では、注意してみる人を決め、声を掛け合うなど、交通安全に注意して活動してください。万が一、活動中にけがをしまったり、けがをさせてしまったり、物を壊してしまったなどの事故が起きた場合は、自治体の担当者まで連絡してください。活動中の事故に対して保険をかけている自治体もありますので、登録時に確認しましょう。

## アダプト情報センターとしての食品容器環境美化協会(食環協)

### 私たち「食環協」が、アダプト・プログラムをサポートしています

食環協はアダプト・プログラム情報センターとして、協会のホームページを中心に、制度紹介にとどまらず、アダプト制度運用・活動のご参考となるよう、アダプト・プログラム実施上の課題の共有や解決のヒント、ユニークな取り組み、成功事例など、幅広い情報の収集、提供に取り組んでいます。

#### 情報発信

■ ホームページやFacebookを活用したアダプト・プログラムの様々な情報の共有・発信

■ 環境イベントへの参画・出展

各地で開催される環境イベントに出展し、自治体や地連と連携して、アダプト・プログラムをPRしています。

■ アダプト・プログラム教室の開催や講演

アダプト・プログラムについて関心をお持ちの方々、もっと知りたい方々のために、“アダプト教室”を開設しております。

■ パンフレットやDVDの提供

一般向け(本誌)、中高生向けのパンフレットを無償で提供しております。

パンフレットをご希望の方は食環協までご連絡ください。必要部数をお送りいたします。

#### 情報収集

■ 新規導入自治体の調査

■ 導入自治体や参加団体を対象にしたアンケートの実施及び統計結果の報告

■ 導入自治体や参加団体への訪問取材

#### アダプト団体への助成

市民と行政が協働で進める「アダプト・プログラム」の重要性が全国で広く認識されつつある中、活動をさらに充実、拡大しようとする団体、あるいはアダプト・プログラムへの新規参加予定団体に対し、主として清掃活動およびポイ捨て防止・啓発活動に必要な諸費用を助成、支援することにより、アダプト・プログラム活動の一層の奨励を行うとともに、その普及を推進することを目的としています。

詳細につきましてはホームページをご覧ください。

#### サポート機能

■ パンフレット(無料提供)

アダプト・プログラムの紹介パンフレットを一般向け(本誌)、中高生向けに用意しております。

また、PDF版はホームページよりダウンロードできます。配布をご希望の方は食環協までご連絡ください。

■ DVD(無料配布)

各地での導入実例に基づく、日本版「まち美化アダプト・プログラム」導入のマニュアルです(自治体の担当者向け)。

配布をご希望の方は食環協までご連絡ください。

■ アダプト教室

アダプト・プログラムについて関心をお持ちの方々、もっと知りたい方々のために、“アダプト教室(説明会・勉強会)”を開設しております。

詳細につきましてはホームページまたは食環協までご連絡ください。

例 ●自治体が主催する“自治体職員(内部)向けの説明会・勉強会”

●自治体またはNPOなどが主催するアダプト・プログラムの“市民向け説明会”

## 食環協は、環境美化のための活動を行っています

食環協(食品容器環境美化協会)は、「環境美化」を目的に、全国の飲料メーカー団体が組織した公益社団法人です。設立は1973年。設立以来、「ポイ捨て防止」キャンペーンをはじめとする多面的なPR活動を展開しています。また、「日本版アダプト・プログラム」の情報センターとして、積極的な調査・研究・普及活動を進めています。

### 「統一美化マーク」をここに掲げて…

「のんだあとはリサイクル」

あちらこちらでお目にかかるこのマーク、じつは「統一美化マーク」と呼ばれています。

1981(昭和56年)以来、食環協から消費者のみなさまへのメッセージとして、

新聞・テレビ広告、自動販売機、道路沿いの立看板、のぼり、横断幕などに登場しています。



### 「ポイ捨て防止」の啓発キャンペーン

統一美化マーク(上記)のもと、各種媒体やメディアを通じて、散乱防止の啓発に努めています。

これまで駅や社内のポスター・ステッカー、道路沿いの立看板、ポスターの掲出、バスラッピング広告など、時々の情勢に応じた方法で、散乱防止を呼びかけています。



ポイ捨て防止の啓発ポスター

### 環境教育支援

#### 環境美化教育優良校等の表彰

学校での環境美化教育を応援していくため、毎年、環境美化の教育と実践に熱心に取り組んでいる全国の小中学校を表彰しています。



表彰式

#### 児童向け環境学習サイト「まち美化キッズ」の提供

「なぜまちをきれいにするの?」「どうしてポイ捨てしてはいけないの?」ということを子供たちに考えてもらえるよう問題提起型の内容になっています。また、教育現場に即したツールを意識し、効率よく学習できる要素を盛り込み、様々な授業展開が可能ないように努めました。



まち美化キッズ 検索

#### 先生向け学習ガイドの提供

環境教育の重要性が増すなか、環境美化教育が圧縮される傾向に対応し、コンパクトに授業が実施できるよう現場教師の意見を反映する工夫を入れました。また、「まち美化キッズ」教材と連動して、授業が展開できるよう、学校教師の指導書として制作しました。



### 全国をカバーする拠点網「地方連絡会議」が地域に密着して活動

地方連絡会議は、県単位(もしくは同じエリアの複数県)で、その地域に拠点(支社、支店、営業所、工場など)のある飲料メーカーで構成し、全国各地で42の「地方連絡会議」が活動しています。

地方連絡会議は、学校表彰事業や地方における環境イベントなどについて、地方公共団体、市民団体、報道機関などへ連絡・調整を行っています。

